

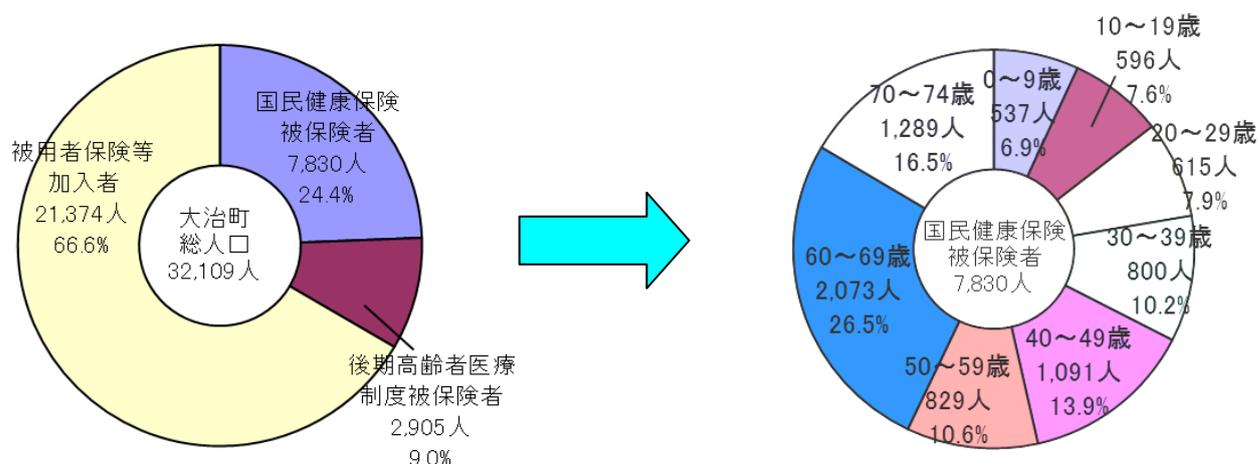
4 レセプトデータから見える生活習慣病

(1) 大治町国民健康保険被保険者の構成

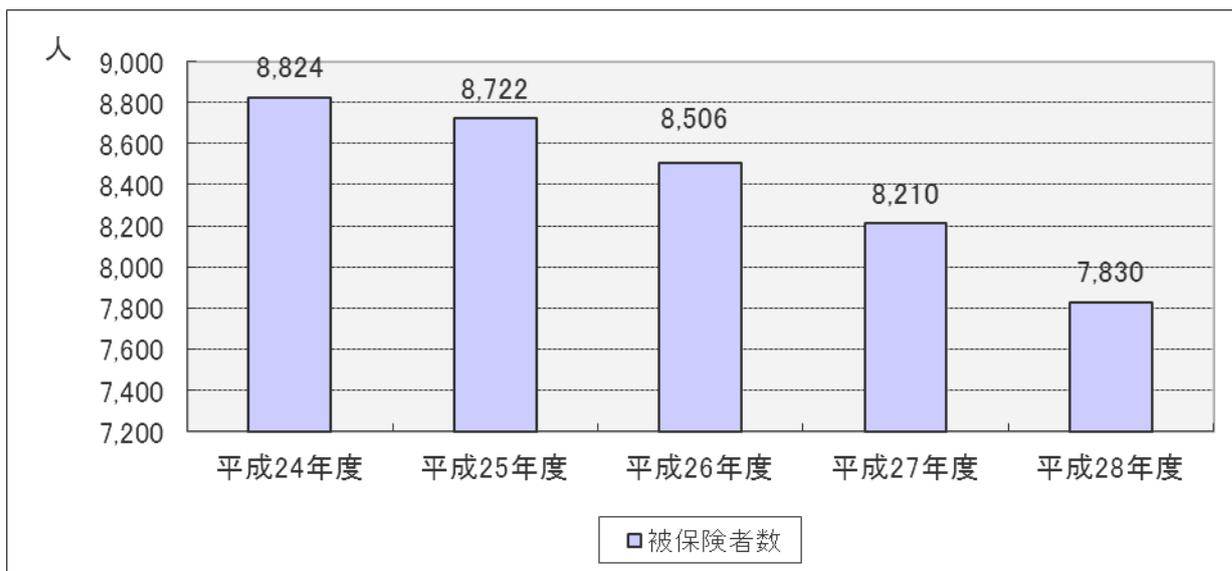
平成29年3月末の大治町の国民健康保険被保険者数は、7,830人であり、大治町の総人口（32,109人）に対する加入割合は、24.4%となっています。

国民健康保険被保険者のうち、特定健康診査・特定保健指導の対象となる40～74歳の方の割合は、67.5%となっています。

《図17-1 総人口に占める国民健康保険被保険者の割合及び年齢構成（平成29年3月末）》



《図17-2 年度別国民健康保険被保険者数の推移（各年度3月末）》

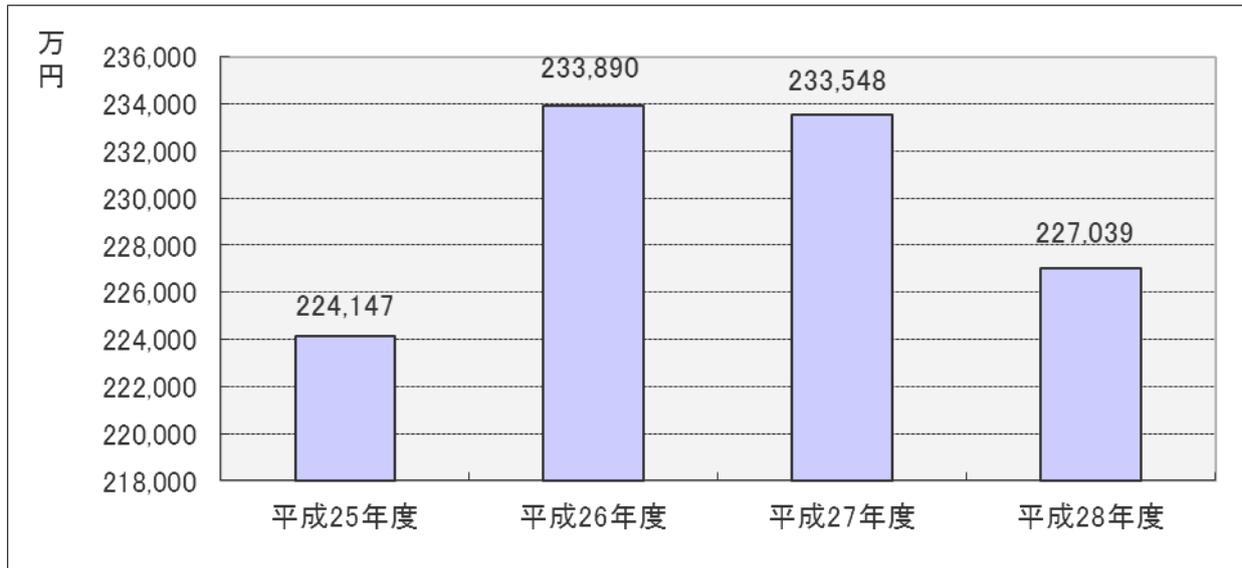


(2) 医療費の推移

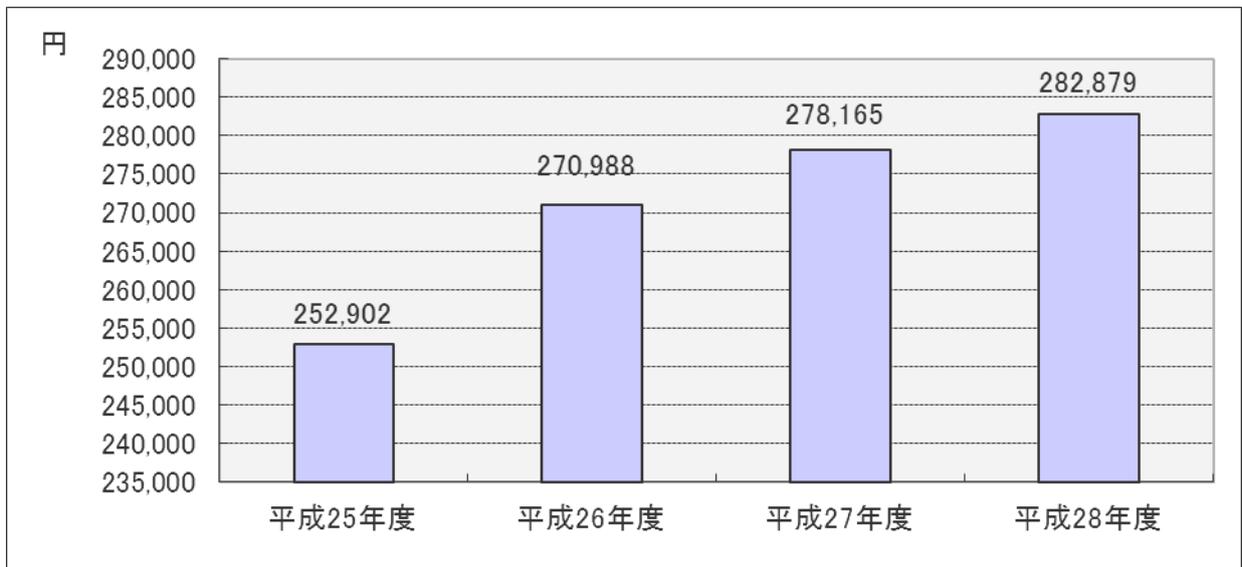
平成28年度の医療費総額は22億7,039万円であり、平成25年度と比較すると、1.3%増加しています。

また、平成28年度の年間1人当たり医療費は282,879円であり、平成25年度と比較すると、約30,000円高い金額となっています。

《図18-1 年度別医療費の推移》



《図18-2 年間1人当たり医療費の推移》



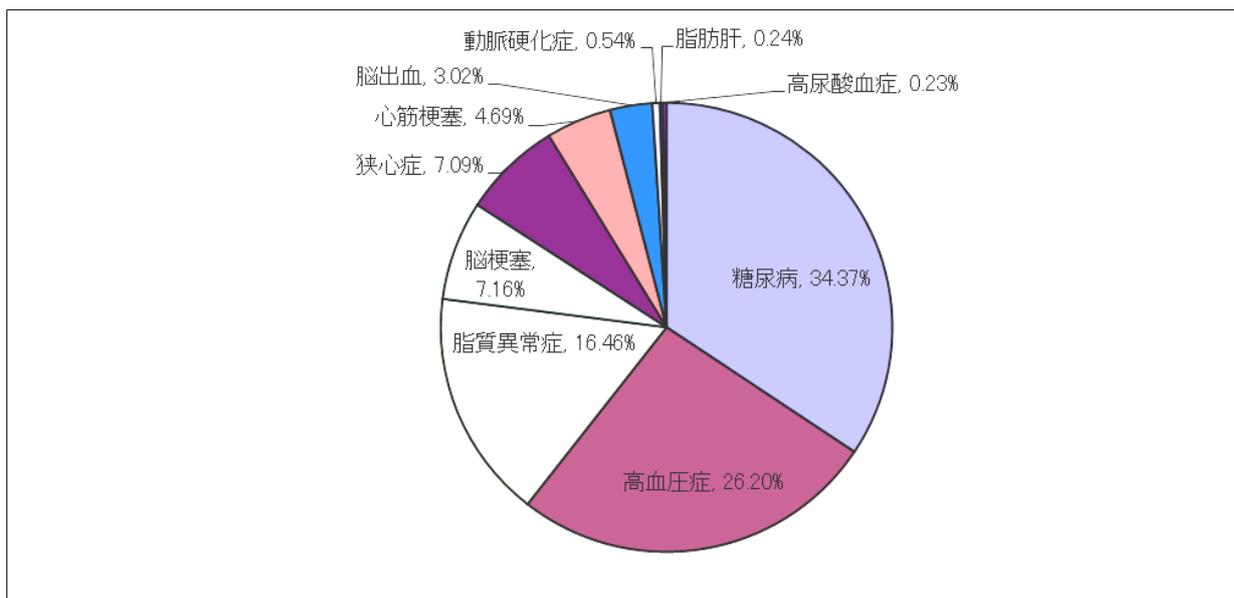
(3) 生活習慣病に関係する主な疾病の割合

生活習慣病に関係する主な疾病の割合は、「糖尿病」が最も多く34.37%、ついで「高血圧症」が26.20%、「脂質異常症」が16.46%となっています。また、全医療費に占める割合は、80%近い割合となっています。

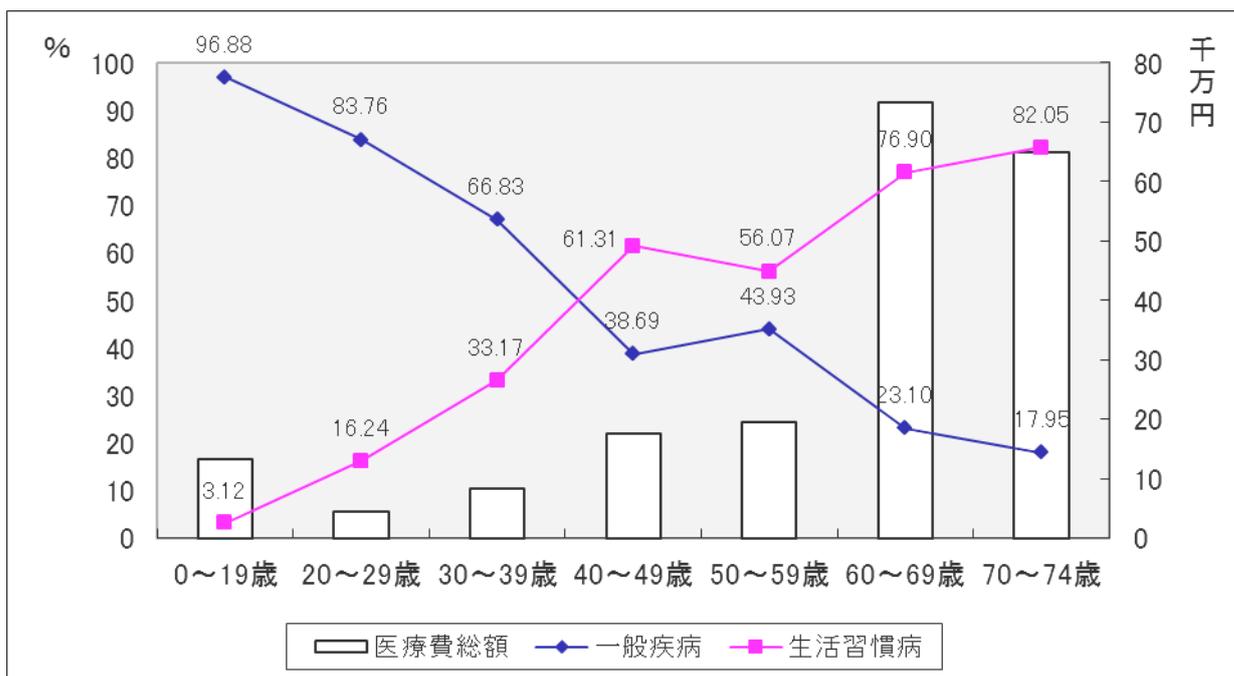
年齢別について見ると、40歳代で生活習慣病に関係する疾病の医療費割合が約61%と高くなり、60歳代以降では80%近い割合となっています。

《図19-1 生活習慣病に関係する主な疾病の割合（平成28年度）》

※平成28年度診療分のレセプトから、生活習慣病に関係すると考えられる、10疾病について抽出しています。



《図19-2 年齢別一般疾病と生活習慣病関係疾病医療費の比較（平成28年度）》



(4) 高額医療費の状況

平成29年11月診療分の大治町における高額医療費のうち、100万円以上に該当する成人の方は9人です。

高額医療費の上位20人のうち、11人が生活習慣病の重症化による入院医療費を含みます。また、そのうち9人と男性が占める割合が比較的高くなっています。

《表20-1 高額医療費の状況（金額順、成人上位20人、平成29年11月診療分）》

年齢	性別	入院 又は 入院外	総医療費 (円)	生活習慣病に関する主な疾病									生活 習慣病 以外	
				糖尿病	高血圧 症	脂質 異常症	高尿酸 血症	肝機能 障害	脳血管 疾患	虚血性 心疾患	動脈 閉塞	大動脈 疾患		
73	女	入院	2,464,180											●
46	女	入院	1,957,680											●
72	男	入院	1,736,540											●
73	女	入院	1,326,900	●	●					●				
58	男	外来	1,310,200											●
51	男	入院	1,298,930	●	●		●							
50	男	入院	1,234,850		●					●				
53	男	入院	1,039,530			●						●		
71	男	入院	1,026,360											●
72	男	入院	989,250											●
51	男	入院	987,940		●									
64	男	入院	980,810								●			
65	男	入院	853,050		●									
74	男	外来	836,850		●									
74	女	入院	819,400	●							●			
74	男	入院	789,780							●				
46	男	入院	755,650	●	●									
69	女	入院	743,680											●
61	男	入院	716,800											●
73	女	入院	715,500											●